

## *Kita no Kawaraban*

# 北の瓦版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル  
TEL(011)251-0101㈹/FAX(011)271-4804  
編集人：事務局長 徳倉 学／定価：1部50円／隔月1回1日発行  
会員の年間購読料は会費に含めていただいております。



北海道開発局存続など要望

## 全国連が農商工連携 取組み事例視察

宗谷・十勝・空知・渡島の四商工連は、商工経済懇談会等で決議された原油等高騰対策や開発局の存続などの案件について関係する行政機関等へ要望した。

宗谷商工連（河村照和会長）

稚内市で決議された社会資本整備など三十二項目について札幌市内の道開発局、道経産局、道

二十三日には国土交通省、農林水産省、環境省、資源エネルギー庁などに中央要望を行った。

十勝商工連（竹田悦郎会長）  
は、帯広商工会議所（高橋勝坦）

帶広市内で決議された「原油等高騰に伴う経済安定化への早期対策」や「北海道開発局の存続など九項目について、道開発局、道経産局、道議会、道などへ要望。

さらに、八月五日には帯広市内で、開発局の存続などを求め



全国商工会連合会（以下全国連）の機関誌「月刊商工会」で農商工連携の取組み『農商工連携の最前線』の特集を組むため全国連の寺田専務理事が和寒町を訪問。（㈱わっさむファクトリー（荒井敏一社長）の関係者から取り組みの経緯等について説明を受けた。

た「小規模事業者新事業全国展開支援事業」から始まり、商工業者、農業者、J A、行政と緊密に連携し、製品の試作・市場調査等に取り組んだ。

試作品を各種商談会等へ出展したところ好評を得、道内外の食品製造業者やホテル等から多数の引き合いがあり、企業化への自信を深め同社設立に至った。

現在は、かぼちゃペーストと青大豆ペーストを生産しているが、豊富な地元産野菜を活用した新たな加工品開発にも取り組むなど今後の事業展開に大きな期待が持たれている。

同社の取り組み事例は、「月刊商工会」十月号で紹介される予定である。

同町は全国一のかほちや生産量を誇り、年間約八千トンが生食用として出荷されるが、約二千トンは形が整わないだけで生食用とはならず、町外の専門加工業者等に引き取られている。

このため、これらのかぼちゃを町内で加工し付加価値を高めて販売することで、町の活性化・雇用の拡大に結びつけたいとの町の思いが事業実現の原動力



## 地域力連携拠点・事業承継支援センター事業紹介

道商工連では、北海道経済産業局（中小企業庁）からの委託を受けて、五月三十日から地域力連携拠点（北海道商工会連合会）・事業承継支援センターがスタートした。

同センターでは、札幌の本部のほか、函館など各支所に配置されている応援コーディネーター十二名が中小企業者を直接訪問して、専門的な経営支援を行う。支援を行う課題は、①ITを活用した経営管理②知的資産経営③経営革新④地域資源活用⑤農商工等連携⑥創業⑦再チャレンジ⑧事業承継支援の八つの支援を柱に事業を実施するほか、各種の経営課題についても対応している。

これらの課題に対する支援メニューとして①相談事業②専門家派遣事業③情報提供事業④調査研究事業⑤マッチング事業の五つを実施する。

具体的には、中小企業診断士等の専門家による窓口相談を、道南支所では、月曜午後、木曜は終日、金曜午前、道北支所では、火曜・木曜終日、檜山窓口では月四回、本部では月曜から金曜まで終日、実施している。その他、企業の事業所や現場

**観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に  
心をこめたおもてなし。**



**【ご宿泊】**  
**【ご婚礼】**  
**【ご宴会】**  
**【ご会合】**

**CP ホテル札幌カーテンパレス**

〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL/011-261-5311  
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>

まで、無料で専門家を派遣する専門家派遣事業など、企業が抱える課題が解決するまで専門的支援を実施する。

先進性事例研修、農商工等連携セミナー、地域資源活用セミナー、事業承継支援セミナー、後継者育成セミナーを全道各地で開催する他、移住・交流ビジネスの情報提供も随時行う。

調査研究事業では、商業統計のデーター分析や事業承継ニーズ調査を実施する。事業承継への支援については、他にマッチ

ング事業などをを行う。

中小企業者が経営を向上させたい、販路を拡大したい、後継者がいない等の経営相談については電話で相談を受付ている。問い合わせは、下記広告の地域力連携拠点・事業承継支援センター相談窓口へ。



### 商工会人事

(五月一日) ▽端野町商工会事務局長 (新任) 斎藤正仁
(六月一日) ▽函館東商工会事務局長 (新任) 久保田博司▽愛別同 (新任) 菅原典幸▽剣渕同 (新任) 又野博▽新ひだか町同 (新任) 太田順一▽同経営指導員 (同事務局長) 田代茂雄
(八月一日) ▽斜里町商工会経営指導員 (白老町経営指導員) 工藤功治
(八月十四日) ▽白老町商工会経営指導員 (上富良野町補助員) 三枝敏九
〔退職〕 (五月三十一日) ▽函館東商工会事務局長三ツ谷脩▽剣渕同渡辺靖雄▽新ひだか町経営指導員大重泰章
(六月三十日) ▽えんがる商工事務局長高橋邦隆

### 地域力連携拠点事業

**あなたの経営課題を  
解決します!!**

経営のことなら  
なんでもご相談ください！



#### 窓口相談

応援コーディネーター又は専門家があらゆる事業承継に関するご相談に応じます。

#### 専門家派遣

事業承継に関する様々な相談に対応するため弁護士、公認会計士などを派遣します。

#### セミナー開催

後継者等を対象とした事業承継に関するセミナーを行います。

#### マッチング支援

後継者不在等にお悩みの企業と開業希望者とのマッチング支援を行います。

### 地域力連携拠点・事業承継支援センター

●(北海道商工会連合会) 011-251-0102  
●(北海道商工会連合会 檜山窓口) 0139-52-0531

●道南支所 0138-43-0086

●道北支所 0166-73-5512

・宗谷事務所 0162-24-1411

●網走支所 0152-43-6804

●十勝支所 0155-22-7151

●釧根支所 0154-43-0394







③事務事業の集約化等について取り組んで行くことを採択した。後志管内は、広域連携体制の先駆けとなっている「羊蹄山麓商工会広域連携協議会」（六商工会）と「南後志商工会広域連携協議会」（三商工会）が既に設立され、積極的に事業を行っている。

岩宇・北後志の二ブロックで同協議会がスタートしたことによつて、管内四ブロック十六商工会の全てが広域連携を行うことになり、同管内の広域的な支

第一回上川管内「麵7セミットin上川」（実行委員長・鎌田康雄上川町商工会会長）が六月二十一から二日間、上川町で開催された。同セミットは、上川管内の製麺業者に参加を募り、麺による地域の活性化を模索。「点から麺」ともじり、地域の広がりをめざし「麺こそが地球を救う、麺で環境を考える」をテーマに企画した。

初日は同町の「たべもの交流館・か夢かむ」で麺フォーラムを開催。「麺で環境を考える」をテーマにコピーライター伊東徹秀氏の基調講演とパネルディスカッションを実施した。

竹田会長は、平成十二年五月から浦幌町商工会長を務め、平成十五年から十勝管内商工連副会長、平成十八年に道商工連理事、平成二十年五月から十勝管内商工連会長に就任。

竹田会長は、平成十九年に北海道産業貢献賞を受賞。公職は、町の行政改革推進委員や総合振興計画審議委員など多数。



浦幌町は、十勝支庁管内の最東端にある人口約六千人の町。ゆるやかな丘陵地で南側は太平洋に面する。南北に長く、町面積の七割を森林が占める町の中央を流れる浦幌川は、肥沃な耕地をもたらし、注がれた太平洋では秋鮭中心の漁業も行われるなど、一次産業の町である。

竹田会長は、「農林水産業と商工業が連携し、農水産品の付

代化推進協議会が平成十二年に北海道知事からの感謝状と建設大臣から「まちづくり月間」表彰をそれぞれ受賞している。

また、今年度からは購買流出カードで納税出来る仕組みを導入し、住民の利便性や納税率の向上に貢献している。

対策として、商品券やポイントカードで納税出来る仕組みを導入し、住民の利便性や納税率の向上に貢献している。

現在、商工会では、近隣四町と非拠点方式の広域連携を協議分を補い合い、相乗効果を活かせれば」と会長は広域連携への期待を寄せる。

昭和十二年竹田商会（自転車販売、家電販売店）として創業。現社長の竹田会長が大学卒業後、電気技術等を習得し、昭和四十七年に浦幌町へ帰郷。電気工事部門を分社化し現社名へ変更。

平成元年に代表取締役に就任。「地域に根ざした企業」をモットーに事業を行っている。

従業員数十七名、資本金一千万円。



## ピューマンプラザ

浦幌町商工会会長

竹田 悅郎さん



商業活性化事業では、平成五年から、商店街近代化事業を実施しており、実施主体の商業近代化推進協議会が平成十二年に

北海道知事からの感謝状と建設大臣から「まちづくり月間」表彰をそれぞれ受賞している。

熱く語った。  
会長の言葉どおり、商工会では、会員の不安、要望を受け止め積極的な巡回指導で地域の過疎化や厳しい小売業への対応を強化している。

### 企業紹介

#### 竹田電気(株)

昭和十二年竹田商会（自転車販売、家電販売店）として創業。

現社長の竹田会長が大学卒業後、

電気技術等を習得し、昭和四十七年に浦幌町へ帰郷。電気工事

部門を分社化し現社名へ変更。

平成元年に代表取締役に就任。

「地域に根ざした企業」をモットーに事業を行っている。



ともに輝く明日のために。  
Light up your future.

ほくてん

## 体験型「科学とエネルギーのコミュニケーションセンター」



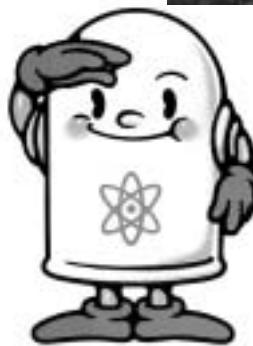
北海道電力 原子力PRセンター

# とまりん館

〒045-0201 古宇郡泊村大字堀株村字古川45番地1

**0135-75-3001**

休館日／毎週月曜日・年末年始 開館時間／展示棟9:00～17:00 プール棟10:00～21:00  
入館料・プール利用料／無料（ホームページアドレス）<http://www.hepco.co.jp>



調査期間別(それぞれ前年同期比のD/F値)				
項目	H19.4-6	H20.1-3	H20.4-6	H20.7-9見込
製造業 売上額	△ 8.5	△ 26.6	6.9	△ 11.6
採算	△ 25.5	△ 42.2	△ 25.0	△ 37.2
資金繩	△ 14.9	△ 26.7	△ 19.1	△ 30.9

調査期間別(それぞれ前年同期比のD/F値)				
項目	H19.4-6	H20.1-3	H20.4-6	H20.7-9見込
建設業 売上額	△ 15.3	△ 46.6	△ 38.3	△ 34.1
採算	△ 32.7	△ 57.1	△ 46.7	△ 37.0
資金繩	△ 22.7	△ 45.2	△ 26.7	△ 32.7

調査期間別(それぞれ前年同期比のD/F値)				
項目	H19.4-6	H20.1-3	H20.4-6	H20.7-9見込
小売業 売上額	△ 54.5	△ 48.4	△ 43.7	△ 46.4
採算	△ 32.6	△ 42.2	△ 48.0	△ 42.7
資金繩	△ 28.6	△ 30.3	△ 32.6	△ 34.4

調査期間別(それぞれ前年同期比のD/F値)				
項目	H19.4-6	H20.1-3	H20.4-6	H20.7-9見込
サービス業 売上額	△ 33.3	△ 43.1	△ 26.8	△ 39.2
採算	△ 25.8	△ 43.5	△ 36.2	△ 35.1
資金繩	△ 23.9	△ 29.9	△ 27.1	△ 28.4

## ベスト10

平成20年7月末現在

順位	貯蓄共済		福祉共済	
	保有口数	新規口数	保有口数	新規口数
			商工会名	口数
1	八雲	1,770	弟子屈町	61
2	せたな	1,610	新冠町	50
3	北斗市	1,438	新得町	35
4	斜里町	1,313	乙部町	30
5	新ひだか町	1,255	羽幌町	20
6	函館東	1,236	別海町	19
7	弟子屈町	1,234	中標津町	17
8	厚岸町	1,184	上ノ国町	16
9	枝幸町	1,049	八雲本別町	15
10	別海町	1,011	轟ひだか町	14
	足寄町		足寄町	

道商工連は、道内商工会地域の平成二十年度第一・四半期六月期実績による「中小企業景況調査」の結果をまとめた。『経営上の問題点』では、全業種とも「需要(官公需・民間)の停滞」及び「原材料(仕入)価格の上昇」が上位にあり、『設備投資』では、調査回答企業で、今期実施が製造業九・一%、建設業六・四、小売業五・二、サービス業四・一という調査結果となり、その他、主要景況項目状況は上記表のとおり。

◎前年同期比「増加」「悪化」回復基調から「減少」「好転」回復基調  
製造業売上額D/F値が前年同期比プラスへ。但し、来期再びマイナス見込み。

## II 中小企業景況調査結果 II

2008年版

「元気なモノ作り  
中小企業三〇〇社」

経済産業省では、モノ作り中小企業三〇〇社を選定。うち、道内から選定された十五社から、商工会地域の会員企業二社の概要を紹介する。

○株式会社菅製作所  
(菅育正代表取締役社長)  
(北斗市商工会)

北海道で唯一、真空装置等の研究開発支援機器を設計から販売まで一貫したサービスで日本の研究者を支える。同社の真空技術は、超真空状態の中で密着力の高い薄膜を付着させることができ、ナノテクノロジーを支えている。

○日農機製工株式会社  
(足寄町商工会)

人手を使わず除草剤に頼らなくクリーン農業を実現する同社のカルチベーター(除草作業機)は、精密な機構を持った豊富なアタッチメントの組み合わせによって、精密除草を可能とし、その結果、除草剤を使用しないクリーン農業の実現に寄与して

## 商工貯蓄共済制度

## 制度のあらまし

国から認められた、会員が加入できる商工会独自の共済制度です。更に付加共済に加入すると24時間ケガの傷害補償、医療特約を加えると病気の医療補償もプラスできます。

特徴は・・・月々わずかな掛金で、加入ができます。

## 貯蓄

## 自己資本の充実

毎月の掛金が貯蓄積立金となり、自己資本の充実ができます。

## 保障

## 企業と家族に安心

掛け金の一部が生命保険料に充てられ、万が一の場合保険金が受け取れます。

## 融資

## 企業の資金繩り

低利な事業資金のあっせんが受けられ、資金繩りが安定します。

## 付加補償

## ケガと病気をカバー

基本セットに付加共済「全国会員福祉共済」に加入すると掛け金の一部が共済料に充てられ、24時間ケガや病気の補償が受けられます。

\*商工貯蓄共済制度に新規加入する場合は、北海道商工業支援協同組合への加入が必要です。

## 補償・安心・信頼

北海道で唯一、真空装置等の研究開発支援機器を設計から販売まで一貫したサービスで日本の研究者を支える。同社の真空技術は、超真空状態の中で密着力の高い薄膜を付着させることができ、ナノテクノロジーを支えている。

(有)ふるさとネットサービス

〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目3番地 北1条ビル3階  
TEL/011-222-3580 FAX/011-222-3584



商工貯蓄共済 新規加入推進強化月間！  
(平成21年2月1日契約まで)

\*期間中、5口以上の新規加入をいただいた小学生に2,000円分の図書カードを進呈！

\*更に、20年10月1日までは、特別強化促進月間として5口以上の新規加入をいただいた40歳未満の全被保険者(小学生は除く)に1,000円相当の地元商品券等を進呈！



9月

会（知内町）	〈渡島〉 ◇ 27日 渡島・桧山管内商工会青年部合同スポーツ大会	ツ交流会（豊浦町）
部員研修会（乙部町）	〈桧山〉 ◇ 28日 ブロック女性	ボーッ大会（日高町）
職員親睦交流事業（雨竜町） ◇ 17日 ブロック女性部員研修会	〈空知〉 ◇ 11日 管内商工会役員研修会（乙部町）	〈日高〉 ◇ 5日 管内商工会長会議（帶広市） ◇ 7日 管内商工会女性部員研修交流会（陸別町）
（奈井江町）	〈上川〉 ◇ 3日 女性部石北ブロック交流会（愛別町） ◇ 4日 商工会巡回運営指導（占冠村） ◇ 7日 女性部北部ブロック交流会（劍淵町） ◇ 9日 ブロック青年部員研修会（比布町） ◇ 16～17日 女性部管外視察研修会（増毛町・小平町） ◇ 25日 商工会巡回運営指導（愛別町） ◇ 28日 女性部富良野ブロック交流会（占冠村）	〈根室〉 ◇ 13日 管内商工会役員パークゴルフ大会（羅臼町）
（留萌） ◇ 3日 商工会巡回運営指導（羽幌町） ◇ 7日 ブロック女性部員研修会（小平町） ◇ 12日 管内青年部長会議・IT担当者会議（苦前町）	〈桧山〉 ◇ 25日 ブロック青年部員研修会（乙部町） ◇ 23日 〈後志〉 ◇ 23日 管内市町村長と商工会長等との懇談会（俱知安町） ◇ 25日 管内青年部員スポーツ交流会（札幌市） ◇ 12日 青年部「かわ食の安心・安全ブランド拡張事業」（東京都） ◇ 13日 ブロック女性部員研修会（比布町） ◇ 15日 商工会巡回運営指導（劍淵町）	：10月： 〈渡島〉 ◇ 7日 ブロック女性部員研修会（鹿部町） ◇ 24日 渡島・桧山管内商工会長合同会議（今金町） 〈石狩〉 ◇ 5日 チャレンジキッズコンペティション（北広島市） 〈後志〉 ◇ 23日 管内市町村長と商工会長等との懇談会（俱知安町） ◇ 25日 管内青年部員スポーツ交流会（札幌市） 〈上川〉 ◇ 12日 青年部「かみ」
（胆振） ◇ 1日 噴火湾地域経		

濟振興懇談会（洞爺湖町）◇7  
日 管内商工会第28回商工振興  
大会（洞爺湖町）◇27日 スポー

〈宗谷〉 ◇4日 ブロック女性部員研修会（豊富町） ◇25日 ブロック青年部員研修会（枝幸町）

〈網走〉 ◇26日 ブロック女性部員研修会（斜里町）

〈胆振〉 ◇27日～28日 管内商工会要望会（室蘭市・札幌市）

〈日高〉 ◇15日 管内商工振興研修会（札幌市）

〈釧路〉 ◇5日 女性部正副部長等リーダー研修会（阿寒町）

◇25日～28日 女性部道外視察研修（宮崎県）

〈根室〉 ◇11日 青年部スポーツ交流会（別海町） ◇18日 釧根ブロック商工会女性部員研修会（別海町）

40周年記念式典・祝賀会（羽幌町）

編集後記



## 明日の経営を 担う人材を 育成する

厳しい経営環境の中で、企業が勝ち残るには変化に対応できる組織づくりが不可欠です。明確なビジョンを持ち、社員を引っ張っていく中核的な原動力になりうる経営幹部の養成が急務となります。

本研修では、幹部としての必要な知識を学んでいただくとともに、演習を交えながら会社のビジョンに沿った総合的・実践的なマネジメント力を身につけていただきます。

受講対象者	管理職・経営幹部・経営者
募集人員	20人
研修総時間	75時間
受講料	98,700円

研修期間	インターバル研修（3日間×3回シリーズ／10月・11月・12月）
1回目	平成20年10月 1日（水）～10月 3日（金）
2回目	平成20年11月14日（金）～11月16日（日）
3回目	平成20年12月 8日（月）～12月10日（水）

# 研 修 の 特 徵

- ① 次世代の経営を担う経営幹部として必要な、『マネジメント実行力』を実践的・体系的に学びます。
  - ② 第一線で活躍中の講師陣による演習、グループディスカッション、ケーススタディなどを取り入れた参加型の研修です。
  - ③ 異業種交流による相互啓発と新たな「気づき」の場になります。
  - ④ 講義・演習で学習した手法・考え方を応用して、自社課題の解決策を立案し、経営幹部としての新たな目標作りを行っていただきます。